

翔

第40号 (令和6年9月1日)



全国いっせい納涼打ち水大作戦

全国きもの指導者協会
認証校

山原昌娃きもの着付学院

いしかわ百万石文化祭応援事業

第19回 七尾市民文化祭

第25回 山原昌娃きもの着付学院

文化絢爛

きもの

着付けショー

❖ 日時 令和5年11月3日(祝)

❖ 場所 七尾サンライフプラザ 大ホール

❖ 主催 七尾市文化協会

《県文化振興基金中学生無料着付講習参加者》
による半幅帯を結ぶ 【こどものゆかた】

それぞれの教室で練習してきて、午前中のリハーサルで顔合わせです。ゆかたが似合っています。いよいよ本番。さあ!!登場です。「YOASOBI」の曲に乗り、半幅帯を結んでいきます。上手、上手という思いでマイクを持ったまま、リズムを取った時、思いがけずに客席の皆様から手拍子をいただきました。舞台と客席が一つになり、暖かな時間が流れます。帯結びはとても上手に仕上がりました。応援ありがとうございました。そして講座に参加して下さいました皆さん、出演ありがとうございました。



緊張の中 笑顔で頑張りました

名古屋帯を結ぶ



手結びと姿枕による帯結び 総勢 38 名による揃いぶみ

豪華絢爛

女性の第一礼装である振袖と留袖。格式と華やかさを添えて厳肅なシーンには欠かせない着物。学院長の常に斬新なアイデアを私達に。今、石川県で開催の国民文化祭も相まって祝意を込めこの衣装で舞台を歩きましようとの事になりました。学院の研修旅行で訪れた際、ショーをプロデュースする千秋芳子先生に歩き方、目線、所作等をご指導賜りました。当日は皆それぞれ想い入れのある一枚を着て、その教えを思い出して晴れの日に出席したかのように優越感に浸りながらスポットライトを浴びました。時代も簡素になって着物を着る場も少なくなり伝統ある着物文化を継承できたらと願っています。

あら「婚礼の儀」かしら?

師範会 瀬口 良子

黒留袖



七尾市民文化祭に参加して

七尾準師範会 崎田 明美

令和五年、コロナ流行の落ち着きが見えたことで、11月3日七尾市民文化祭に参加しました。今回は七尾市民文化ホールで他の文化協会団体の方々との合同発表会です。

久し振りの舞台での発表会に程よい緊張を感じつつ午前の一部では名古屋帯の自装を皆で息を合わせて。午後の二部で私は黒留袖で出演。姿勢よくしなやかにウォーキングをして、もちろん笑顔も忘れずにポーズを決める。そのままフィナーレへと続き、他の団体の方々も加わって華やかに幕が下りた。

皆で作りに上げる舞台の大変さを感じつつも和気あいあいと楽しい一日でした。



黒留袖



訪問着



手をつないで

師範会 新古 嘉子

この度大きなイベントに参加させていただきました。何日も前から各自が歩きの練習をしたり、チームを組んで楽しく歩く方法を勉強をされていました。当日は各教室から大勢の参加で、素晴らしい光景で圧倒されました。

私も久しぶりに訪問着を着て、山原学院長・上島先生と二人で手をつなぎ中央を歩くと聞きビックリしました。年令を重ねているので、皆様に迷惑をかけないように、緊張を笑顔で忘れないようにと、山原学院長の手をしっかり握って歩きました。参加者全員で挨拶した時はホッとしました。大変貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございます。



きものの魅力

師範会 竹ヶ端 富美江

着物でウォーキング！楽しそう。

「自分で着つける事」参加メンバーと猛稽古！いよいよ当日、何と欠場したチームが出た為、予定より一時間近く出番が早くなり皆パニック！T先生の応援を得て何とか皆さんと一緒にショーに参加する事が出来ました。お稽古が苦しかった分、何とか終了出来た喜びは一人でした。晴天の下で記念撮影も終え、忘れられない一日となりました。

いつも着物の魅力を再発見出来る企画を立てて下さる山原学院長にはその度に驚かされ、そんな気持ちを共有出来る機会を戴けて、感謝申し上げます。又、陰で支えて下さるスタッフの皆様にも感謝です。



文化の日恒例の七尾市民文化祭に参加させて頂きました。私見としては、行事やイベントの類は準備段階ではガンバリ、当日は楽しむ事を最優先にしておりますが、中々理想的には運ばず、やはり本番もあたふた致しました。特に留袖・色留袖の着方においては気を配る箇所が多く毎回緊張いたします。基本的な着方と礼装としての品格も考慮しつつ、とは言え華燭の典にて袖を通す事も無く、タンスの肥やしでしたが、こういうチャンスを与えて頂き有り難いです。無事終わると、年を重ねても少しばかりのドキドキと覚悟は必要ですが、共に研鑽し楽しめる仲間の存在は宝物だと言う事を再確認しました。

七尾準師範会 平山 広美

「着物着付ショー」に参加して

色留袖



振袖



舞台ソデでしっかりリズムをとりこやかに堂々とウオーキングです。厳肅な空気の中、ライトを浴びます。タンスの中の大切な一枚、ありがとう文化祭。千秋芳子先生選曲のおかげです。



ステージを終えみんなホッとした笑顔

豪華絢爛 ステージ参加者

振袖	中尾 聡恵	大澤 和佳	
色留袖	山原学院長	松井 吉子	田中ひとみ
	山田 清美	長澤 雅美	平山 広美
	宮内 望未	大根由紀子	村井恵美子
	五島 敬子	寺本 瑞穂	
訪問着	久木満津美	上島佐洋子	中座 道子
	藤澤 久江	新古 嘉子	山本由美子
	尾田美千代	宮本富美子	竹田 宏枝
	深浦 米子	久水 康子	高松美智子
	橋谷多津子	松井三恵子	宮本 徳子
	松田 浩美	小垣裕美子	竹ヶ端富美江
	平澤 純子	袋井 弘美	姥浦紀美子
	川島 順子	角島 早苗	西田 早苗
黒留袖	田中カフミ	河原佐代子	八野田美智子
	丸吉ひとみ	山本 悦子	保志場由紀子
	國門加寿子	池田 孝子	瀬口 良子
	藤田 寿代	細田 節子	神前 淳子
	大谷 礼子	崎田 明美	春木未央子
	守友 伸子	黒崎真奈美	関塚美智子
	松井美和子	瀧山田陽子	小泉真理子
	櫻井美代子	吉田美津子	山形 清美

全国きもの指導者協会 資格授与式

令和六年七月七日（日）
於 料理旅館 金沢茶屋

能登半島地震の影響で開催がやぶまれていた「資格授与式」が、皆様の熱い思いで今年も無事開催する事ができました。併せて行われた『半巾帯結びショー』はアイディア満載の力作と皆様の笑顔に包まれた大変賑やかなものとなりました。



新準師範



半巾帯結び
ショー



創作結びは無限大

資格授与式に参加して

金沢準師範会 橋本亜希子

今年の資格授与式は特別でした。会場の皆様のお顔を拝見してうれしく思いました。始まりの先生の言葉に涙しました。資格を授与された皆様おめでとうございます。そのお姿に元気をもらいました。

半幅帯結びショーは、どんな形がいいか悩み、準師範会では皆さんの帯結びを見て刺激をもらい、また時間内に収まるか心配しましたが、当日皆様のいろいろな半幅帯結びを見てすごいなあ、素敵！こんな結び方があるんやと感心し、わくわくしました。参加することで半幅帯結びが楽しく、こんなにバラエティがあることを知りました。ありがとうございました。



半幅帯結びショーに参加して

七尾準師範会 宮内 望未



舞台で相手に半巾帯を結ぶのは初めての経験でした。練習時に山原先生から課題を頂き、自分なりに研究し仕上げる事ができました。私達の発表が終わり、次は師範の先生方の発表です。結んでいる様子を見守り、「どんな仕上りになるんだろう。」とワクワクしていました。仕上がり、一斉に振り向いた瞬間「ワァー！素敵!!」と周りからも歓声があがりました。一つとして同じ帯結びは無く、個性とアイデアにあふれていました。私も今回の皆さんの帯結びを参考に、自由自在に半巾帯のアレンジができるよう勉強していきたいと思っています。

全国きもの指導者協会

令和6年度 協会だより

資格を取得された皆様、おめでとうございます。講師科・着付士科で共に学んだ絆が、育まれていたことを、うれしく思います。それぞれの地域での活躍を期待致します。

資格取得者一覧

準師範



新田 美智代
かほく市白尾

準師範の資格を頂き感謝しています。技術が未熟な事や能登半島地震による不安で戸惑いもありました。しかし4月に山原先生と講師課程を一緒に取得した仲間と再会した時、笑顔があふれうれしく、心強く感じました。

これから、この仲間と切磋琢磨し、技術を磨いていきます。



平澤 純子
中能登町小竹

この度準師範の資格を頂き感謝の思いでいっぱいです。ふみ娃先生の優しいお人柄と、毎回山原先生の勉強会を受けるときのワクワクとした高揚感！が更に深く学びたいという原動力になっています。学院生方もポジティブで共に活動出来て幸せです。未熟者ですが今後ともよろしく願います。



国門 加寿子
宝達志水町

この度準師範の資格を頂く事となり、山原先生をはじめ諸先生方のご指導のお陰と、深く感謝しております。

まだまだ技量不足の私ですが、資格を頂いたことを今後の励みに、楽しく着物を着ることを基本に、学びを重ねていきたいと思っています。



林 定子
七尾市中島町

この度準師範の資格を頂き、本当にありがとうございました。

山原学院長、藤澤先生心より深く感謝申し上げます。

“着付を学ぶ時間が幸せの時間” 同じ仲間と励まし合い共に学ぶ有意義な経験をより多くの人達と共有できよう努力して参ります。



中尾 聡恵
七尾市

お稽古できないこともありましたが、河原先生をはじめ教室のお仲間と楽しく続けられ、皆さまと会する場では、山原先生をはじめ諸先生方から丁寧にご指導をいただくことができ、多くの方の支えによって準師範の資格を頂くことができました。皆様に心より感謝申し上げ、研鑽を積みしたいと思います。

指導員

西田 早苗
三嶋 咲栄

新連鎖校



遠田着付教室

師範 遠田 由美子

この度は、連鎖校の認定を頂きまして、ありがとうございます。

孫に着物を着せたい、自分でもきれいに着たいとの思いから、高松教室で堀井先生の元習い始めました。山原先生、堀井先生、諸先輩、家族、皆の協力、指導の元、ここまでこれたと思います。感謝の気持ちで一杯です。

実技、伝統文化、風習やしきたり着物の世界は奥深く広大です。これからも、ポジティブにいろいろ勉強しながら、着る楽しさ、着せる楽しさを多くの人にお伝えしていきたいと思っています。今後共、よろしくお願い申し上げます。



美和子着付教室

準師範 松井 美和子

幼い頃に着物と出会い、曾祖母と一緒に行った呉服屋で好きな着物を選ぶ、着物を着てモデルになる。誰かの為に見立てる。それが曾祖母の仕事でした。楽しい時間でした。これが私にとっての原点です。いつかは着物を着たい。先生の名声を聞いて20年後に学院の門をくぐり、着付を始める事に。学院長より連鎖校認定を頂きありがとうございます。これもご指導頂いた諸先生方のお陰です。相手を尊重し、先生の教えを守り、後世までも受け継ぐ人を育てる。それが連鎖校を頂いた使命です。

DESIGN COMMUNICATION
CORPORATION IDENTITY
ADVERTISING
WEB SITE
EDITORIAL DESIGN
PACKAGE DESIGN
PRINTING

あなたの想いをカタチにします。

SOLUTION!



DP 第一印刷株式会社
DAIICHI PRINT INC.

七尾市古府町へ部34番地1 TEL: 0767-53-3800

https://daiichiprint.co.jp 第一印刷 検索

■セールスプロモーション提案・制作・各種印刷・WEB etc.

知事許可(般-16) 第15872号

いしかわ事業者版環境 ISO 674 号

建築板金請負

平沢板金

一級技能士

平澤章一

〒929-1722 石川県鹿島郡中能登町小竹ア部 59
TEL 0767-77-1602 FAX 0767-77-1612

Nymalia・まこ
イマリヤ

美容室

TEL 0767-28-3321

羽咋郡宝達志水町小川20の1

莊司 礼子先生をお迎えして

「心を磨く」 師範会特別研修会

令和五年十月一日（日） 金沢勤労者プラザ



学校法人 国際文化学園
理事長・校長
莊司 礼子 先生

莊司礼子先生の研修会に参加して

師範会 長澤 雅美

皆が尊敬する偉大な山原学院長が尊敬され、偉大な先生だとお慕いされる莊司先生の講義を受ける機会を頂き、感動の連続で夢のような時間でした。

衿の抜き方、袴のお話など着付けの大事なポイントや一瞬で見極める目を養うことなどを学びました。

また、「片付けること」、「たたむこと」は、次への準備につながることをこの言葉にハッとさせられました。今まで綺麗に「たたむ」ことばかりに気を取られていましたが、次に美しく着るための準備だという気持ちで忘れずに片付けたいと思います。また、着付けのことでなく、心を充実させて生きていくために、心

を磨く大切さを、莊司先生のこれまでの歩みから丁寧に教えていただきました。

志のために腹を決めて選んだ道を進み、その場所で精一杯、心を尽くし努力され、無我夢中にひたむきに歩んでこられた莊司先生の人生に心を打たれました。どんなに過酷な状況でも相手を想い、与えられた場所で最善を尽くせるよう、日々に流さず、一つ一つの事を大切に生きようと思いました。

莊司先生と山原学院長の息の合った講義はとても楽しく、参加した私達全員とコミュニケーションを取りながら、皆に心を配ってくださる先生方のお気遣いに胸が熱くなりながら、大切な言葉の数々のご指導に会場が一体となり、心を躍らせて学ぶことができました。

また莊司先生が遥々持ってきてくださった「名護屋帯」は、見た目から想像できないほど柔らかくしなやかな手触りで、時代の変化で形を変え人々から必要とされた帯に、私も色々な事にしなやかに対応でき必要とされる人になりたいと思います。



国際文化学園の理事長ご就任で、大変お忙しい中お越し戴きました。

「心を磨く」という難題には、先生の少女時代からの体験をお話し戴き深い感銘を受けました。飾らぬお人柄に莊司礼子先生のファンいっぱい誕生です。日本最古の貴重な名護屋帯もお持ち戴きうれしい時間でした。

（山原 昌娃）

「加冠の儀」を鑑賞して

師範会 田中ひとみ

4月16日（木）東京渋谷セルリアンタワー能楽堂において、国際文化理容美容専門学校主催による「加冠の儀」が開催されました。

男子の元服、現代の成人式です。角髪（みずら）といわれる童の髪型から、結髪をして髻（もとどり）をとった大人の髪型になり初めて冠を着けます。衣も束帯といわれる大人の衣装に着替え、大人の男性になったことを示します。

平安時代絵巻の再現のようでした。帝役は莊司礼子学校校長が演じ、歴史に忠実に再現され、しばし平安の世へとタイムスリップしておりました。「本物を見る」ことが糧になる。山原学院長のご指導の言葉に感銘を受けました



「童子の姿」



「成人の姿」

いしかわ百万石文化祭 2023

シックな着物でPR 文化センター着付け講座生徒



チラシを配る着物姿の生徒ら＝金沢市武蔵町で

いしかわ百万石文化祭が14日に開幕したことを受け、金沢中日文化センター（金沢市武蔵町）着物着付け講座の生徒らが同日、同町の金沢エムザ前で県発行のパンフレットを配って文化祭をPRした。今年3月まで同センター講師を38年間務めた山原昌娃さん（82）やその教え子など約30人が参加。秋らしいシックな柄の着物姿の参加者は、約600部のパンフレットを通行人に配り、ムードを盛り上げた。同センター現講師の尾西ゆき子さん（72）は「文化祭の雰囲気高めると同時に、日本の着物文化の魅力も多くの人に広めていきたい」と話した。（柴田一樹）

広報ボランティアの認定を受けて、県発行のプレガイドブック600冊を配布しました

広報ボランティア参加者

山原 昌娃	田中ひとみ	藤田 寿代
中座 道子	藪下 全子	西 晴美
尾西ゆき子	東 きよえ	竹田 幸子
野島 圭子	角島 早苗	澤 ひろみ
太田久美子	竹内 雅美	木本しず子
遠田由美子	塩嶋 國子	荒木 幸子
嵐 裕子	新村 俊美	村上 黎子
櫻井美代子	小泉真理子	吉岡 恵子
小田由紀恵	多賀 好美	山原 萌葉
長澤 雅美		

第4回 きものに恋して

金沢準師範会 荒木 幸子

石川県で秋に開催される「国民文化祭」期間中に、金沢準師範会でも文化祭に合わせた企画をする事を、山原先生からご提案があり今年度は役員五人体制でスタートしました。まず役員で事前打ち合わせを行い第一回において、テーマを決め会場日程内容等の意見を出し合いました。会場と日程については、金沢芸術村「里山の家」で開催する事になりテーマを「きものに恋して」として具体的な内容について、意見を出し

合い、打掛を持つている人がいる事、最近では婚礼でも着物を着る機会が減少している等からサブテーマを、「金沢の婚礼を彩る着物たち」とし具体的な内容等について、話し合いを行いました。

学院長から単なる展示で終わる事の無いようにとご指導があり、再度内容について話し合いをし、昨年度作った京帯と半巾帯の帯結びを音楽に合わせて見て頂く事にしました。

リハーサル時間が中々確保できず本番になり心配しましたが、参加者全員心を合わせ無事に終了でき本当に嬉しく思います。

ご指導いただいた学院長、師範の先生、展示にご協力くださった金沢師範会、講師会の先生方、天候の良



着付けの方法を披露する「山原昌娃きもの着学院」の金沢地区準師範会メンバーら＝金沢市大和町の市民芸術村で

婚礼着物 華やかさで魅了

山原昌娃さん教室 金沢で催し始まる

婚礼の舞台を彩る着物を飾った「第4回きものに恋して」（北陸中日新聞後援）が12日、金沢市大和町の市民芸術村里山の家で始まった。華やかな振袖や上品な黒留袖などが並び、アレンジした帯結びが来場者の目を引いている。14日まで、入場無料。着物文化の裾野を広げようと、山原昌娃さん（金沢中日文化センター講師、北陸中日芸術文化賞受賞）の着付け教室の金沢地区準師範会が企画。会場に飾られた花嫁のれんの先に、メンバーが持ち寄った加賀友禅の黒留袖など計15点が並んだ。振袖の帯は、バラやリボンのような形で若々しい印象を与えた。初日は着物ショーもあり、お太鼓と胴に巻く部分に分割し、気軽に着られるようリメイクした帯の着付けも披露。会場には豪華な水引が付いた結納品や新郎新婦両家がくんだ朝一番のお水の一つの杯の上にそぐ「お水合わせ」の道具も飾られ、金沢の結婚式の伝統的な様式を紹介した。荒木幸子会長（74）は「最近では婚礼で着物を着ることが少なく、たんのすの肥やしになっている。着物を活用して底辺を広げる機会になれば」と話していた。開場は14日午後3時まで。（奥田哲平）



くない中、来場頂いた皆様にお礼を申し上げます。会員の皆様には、着物の展示等での御協力に改めて感謝しています。

学院だより



令和五年八月二十六日

「七尾町人・夏祭り」

ゆかた着付けと打ち水大作戦



ゆかた無料着付けの協力の後、花嫁のれん館で子供達や田鶴浜高校の生徒さん達と「納涼打ち水大作戦」!!

かわいい子供達、若さあふれるゆかた姿の高校生の皆さんと共に涼を感じた一日でした。

九月十七日
能登演劇堂

「等伯—反骨の画聖—」

市民キャストさんへ浴衣の着付け

『無名塾十市民合同公演』と話題の演劇を翌月に控えた九月十七日能登演劇堂へ浴衣の着付けに伺いました。市民キャストには学院師範・山下珠美先生はじめ県内外から十名が出演されます。皆さん浴衣姿は恰好良く素敵に着こなされていました。また色々な事に興味深く意欲的な方々で「たたみ方や帯の結び方を教えて欲しい」等、着物を通して楽しいひと時を過ごす事が出来ました。今年度師範会行事の一環として、約三十名が十一月五日千秋楽公演を観劇しました。交流を深めた皆さんの演技に感動し大きな拍手を送りました。



能登演劇堂にて「等伯」出演の市民キャストの皆様へゆかたの着かた教室



師範会 山本由美子

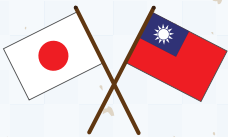
九月二十九日

能登空港でお出迎え

台北チャーター便のお出迎え

七尾準師範会 大谷 礼子

9月29日、能登空港と台北を結ぶチャーター便が4年半ぶりに再開することになり、加賀屋さんよりお声をかけて頂き、お出迎えに10名で参加させて頂きました。事前に加賀屋さんより台湾の方は大変着物に興味を持っておられるとお聞きしたので、大変暑い日でしたが、全員訪問着で参加しました。まず送迎デッキで台湾の国旗を持ち、飛行機をお迎えし、次は到着ゲートへ移動。加賀屋の従業員の方から習った台湾語で、観光客の方を笑顔でお迎えし、一緒に写真撮影したり、滅多に出来ない台湾の方々との交流を経験させて頂き有意義な一日となりました。



十一月二十三日

親善都市文化交流会



師範会 竹田 宏枝

11月23日、七尾市と親善都市である、「丸亀市」との交流会が、七尾市文化協会主催で和倉温泉「のと楽」にて開催され、学院長含め7人が参加いたしました。

丸亀市からの参加者には、なんとH29年の七尾での文化交流会で知り合い、そこから交流の続いているお琴の団体の先生と生徒の方達が又来てくださいました。

久しぶりの再会でしたが、旧知の友の様、お互いの活動、近況等語り合い大変楽しい時間を過ごしました。「次は皆で丸亀城祭りに行くよ」と次の再会を約束いたしました。

令和六年五月四日

中能登町二十歳のつどい



着付けお直しボランティアに参加して

七尾準師範会 瀧山田 陽子

今年の二十歳のつどいは、震災の影響で5月4日の開催となりました。去年から着物を準備し楽しみにされていたと思うと、こうして無事、二十歳のつどいが行なわれて本当に嬉しく思いました。皆さんの晴々しい姿を見ると、こちらまでうきうきしてきます。

今回初めてボランティアに参加して、貴重な経験をさせて頂きました。



みなさんの輝く笑顔がステキです



石川県七尾市藤橋町に山付学院はある。着付けをし原昌雄さん(82)のきもの着ていた母の存在が、始める

山原さんの着物講座

「てくてく記者 日々是好日」 小塚泉

着付け 喜びとぬくもり

きつかけとなった。金沢中日文化センターで今年まで38年間「きもの着付け」の講座を担当した。七尾から金沢へと通ったが、「遠いと感じたことはなかった。待っていてくれる人がいる。教室へ来る人が喜ぶ姿を見たかった。地元七尾では、「すべての公民館に行かせてもらっていた。山あり、海ありの土地。山原さんは人に感謝した。「主事さんたちが応援してくれました」教室は機関誌「翔」を年1回発行する。1989年に創刊した。毎年、受講生が思いの丈を書いた。「着物の袖に手を通すたびに胸がわくわくする」初めて一人で着物を着た時の喜びを忘れないでいたい。文面を読んでみると、私も着物を着るのは永遠の憧れだと感じる。その思いを、山原さんは何より大切にしていた。一人一人が輝ける場所をつくらせてきた。半世紀余り、着物をまとい、着付ける喜びを伝えてきた。

金沢市の中座道子さん(80)は言う。「自分で着物を受講生たちに囲まれ、笑顔の山原昌雄さん(中央)金沢市内で(金沢広愛堂撮影)」

着たかった。そして自分の子どもに着せたかった。人に教えるなんて思わなかった。今では山原さんを支える立場にいる。

学院生たちからは、「腰が低い。気配りを欠かさない」と声がかかる。

ふと、私は脳卒中で倒れた5年前のことを思い出していた。七尾に勤務して2カ月、病室で孤独だった。いろんな人の顔が浮かんだ。そんな時、ふと山原さんのことを思った。

30年ほど前の駆け出し記者のころに会っただけなのに、なぜだろう。私を支えてくれたのは、消えないぬくもりだと気づいた。

山原さんは、「後ろを振り返る余裕もなく前を向いてやってきた。みなさんに育てていただき、学院生の支えがあったと感謝しています」。2020年に七尾市文化賞、22年に北陸中日芸術文化賞を受賞。「着物文化に光を当てていただきました」

受講生たちは、どこに行っても気配りを欠かさず、腰の低い姿が記憶に残るという。そこに魅力を感じるのだと知る。私は生涯、山原さんのことを忘れない。

北陸中日新聞 令和5年10月8日掲載

能登半島地震

令和6年1月1日

最大震度7。津波も発生。

地盤隆起や土砂崩れ、道路の破損などで、石川県内の交通や水道などのインフラが大打撃を受けました。犠牲者は300人を超えました。お正月ゆえに古里へ帰郷して、亡くなられた方々も居られ、ご冥福を祈るばかりです。

1次避難・2次避難と古里を離れての生活。半年迎えた今もまだ2000人を超える方々が避難です。

全国着物指導者協会認定校
山原昌娃着付学院 様

この都度は、石川県能登半島地震の被災にあわれ、心よりお見舞い申し上げます。
断水、交通断等、日々報道されるなか、本当に大変なこととお察し申し上げます。
甚大な被害が出ていますが、山原先生はじめ、ご関係者様大丈夫でしてでしょうか。
ご心労を拝察いたしご案じ申し上げます。

どうぞお疲れを出されませぬよう、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

同封、気持ちですが、お返事
学校法人 国際文化学園
国際文化理容美容専門学校
理事長 莊 司 礼 子

山原昌娃先生
この度の地震による災害
のお見舞いを申し上げます。
昨日はお電話まで頂き
ありがとうございました。
永年の復旧、本当に良
いですね。大変だとは思
いますが、健康にお気
を付けられ、がんばって
ください。
高知から応援いたして
あります。
皆様のご健康をお祈り
申し上げます。
2024.2.13
北 泰 子

学院長 山原 昌娃

一月一日 午後四時十分 震度7。
お正月の穏やかな空気は一変しました。最初の揺れで治まったと思っ
ていました。ところがものすごく長
い長い大きな揺れが襲ってきました。
幸いに家は無事でしたが、どの部
屋も足の踏み場がない有様。

「先生、大丈夫ですか」と電話を
戴く一方で学院の方々へ次々電話を
かけました。輪島市の先生方が気にな
りますが連絡がとれません。

まだまだ余震が続きます。夕食の
みそ汁が大きく波打ちます。その度
に身も心も固まります。

一日から水が止まっています。電
気がO・Kだったのが幸いでしたが、
毎日不慣れた生活で、一日一日をすこ
すのに必死です。

日を追って被害の大きさを知りま
す。七尾市へも全国から専門職の
方々が大勢助けに来て下さり本当に
うれしく、有り難く、感謝です。

学院の九名の方々にお見舞金を。
そして百名の方々との会食が叶いま
した。電話ではわからなかった被害
もお聞きし、泣き笑いの再会でした。
六ヶ月経過した七月現在、再建も
はかばかしくなく、輪島・珠洲では
なおさらで復興はまだ先です。早く
輪島へ行きたいと念じております。

師範会

前年度会長 宮本 徳子

件の巨災から二ヶ月余り、紆余曲
折を経て、なんとか師範会総会を迎
えることができた三月十七日。七尾
『番伊』で、先生方にお会いするこ
とができた喜びと安心感は何ものにも
代え難い時間でした。「総会を早
めに終わり、なるべく皆さんとの歓
談と美味しい食事を楽しみたいよ
う」とのうれしいお声掛けも戴き、
総会&食事会の始まりです。本当に
大変な事がありました。半年を過ぎ
た今でもご存知のとおりの有様です。
出席できた先生、まだそれぞれで
はない先生、それぞれ事情を抱えて
の近況報告を伺うことができました。
「声を出す」のは大事ですね。鬱々
とした日が続くなかで言葉を掛け合
うことで少しでも気分を持ち直すこ
とができたなら有意義な日になりま
したでしょうか。そのなかで、素敵
な言葉を頂戴しました。ところが、
粗忽者の私はその大事で素敵な言葉
を忘れてしまったのです。その言葉
を戴いた先生もまた忘れたようです。
どなたか覚えてませんか？「ガンバ
ろうー」に替わる己を奮い立たせて
勇気づけてくれる「言葉」を。

金沢準師範会

前年度会計 相川 佳子

大震災により甚大な被害を受けた
皆様に心よりお見舞い申し上げます。
幸い私たちは全員無事でしたがご実
家が被災し復旧に追われる方もい
らっしゃいました。不安な状況でし
たが活動を行うことができました。

一月十三日、山田先生をお招きし
袴の着付け練習をしました。先生の
ご指導のお陰で気持ち明るくなり、
笑顔が広がっていききました。好き
な事ができるって、幸せですね。

三月九日、食事会。山原先生もご
出席になり、お元気な様子に安心し、
再会を皆で喜び合いました。「みん
なに会いたい」と言う先生の強い思
いとお心遣いに心から感謝いたしま
す。



皆様のご安全とご健康を
心よりお祈り申し上げます。
令和六年一月二日

高松市の着け教室
山中成
北 泰子

全国まわりの指導者協会
四国地区 会員一同

御見舞

現代洋装道
宗家 藤田静子

お見舞

山中成
北 泰子

御見舞

学校法人国際文化学園
国際文化学園高松門生会
理事長 杉司礼子

お見舞

全国まわりの指導者協会
四国地区

「能登半島地震」被災への心あたたまると
お見舞金をいただきました。心より感謝申し上げます。

七尾準師範会

前年度会長 細田 節子

能登半島地震から、二ヶ月余り過ぎた三月十日、七尾準師範会総会が開かれた。十五人が参加し、久しぶりの再会をした。

まだまだ心の傷が回復していない仲間達。その時の様子や現状を出し合い、無事を確認しあった。

門前にいて、倒れた建物に押しつぶされそうになった方。自宅に住めず納屋や子どもの家に一時避難している方。自宅にいても、上水道が回復せず、水くみや入浴、洗濯に羽咋や氷見方面まで出かけ、しのいでいる方。自宅の屋根にブルーシートがかけられたが修理の見通しが立っていない方々。苦労や不安が伝わります。

そんな中でも、近所の方々に井戸水を配り、食事提供などボランティア活動に活躍している方もいた。

先の見通しがたない中での会合であったが、山原先生や他県の先生方のお見舞いも受け、おいしいランチを頂き、つかの間、元気をもらいました。

復興には長い時間が必要と思います。が、仲間と共に一歩ずつ進みます。

金沢講師会

前年度会長 櫻井 美代子

令和六年三月十六日十三時、金沢講師会のお食事が、日航ホテル『弁慶』で行われた。

この日は元日の能登半島地震が起きてから初めてのお食事会。山原先生も皆とお会いしたいとの意向で、金沢へお越し頂く事になり、講師会も全員が集まった。また中日文化センターの尾西・長澤両先生もお越し頂く事になり、とても賑やかな会となった。

誰一人欠ける事無くお顔を拝見することができ、「皆無事でよかったね。」の声があちこちから聞こえた。食事会では、地震に遭った時の話をした。津波が心配で高台に避難した方。コップや本が棚から落ち、怖い思いをした方。家や屋根の修理で現在大変な思いをしている方々等。ある方は、輪島の親戚宅で家族と共に過ごしていた所、地震で命からがら金沢に逃げてきた話をされ、思わず溢れた涙に皆胸が詰まった。

「吐き出すのよ。」と山原先生。怖い思いを吐き出す事により、会が終了する頃には心が軽く、皆さん又元氣な笑顔になっていた。頑張ろう能登。頑張ろう金沢講師会。

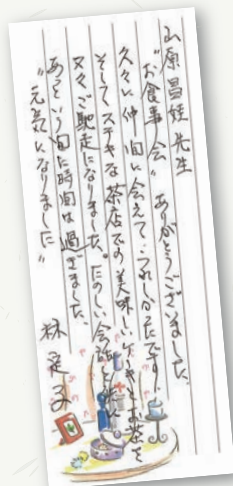
山原学院長との昼食会

高松教室 堀井 紀子

指導員、講師そして準師範の皆様が山原学院長を囲んでの昼食会が高松町の『河北亭』で行われました。きらきらした皆さんの成長とこれからの学院を豊かにして下さることを願いながら、お食事会の末席に出席させていただきました。



七尾講師会	3名	田鶴浜教室	2名
竹ヶ端教室	2名	羽咋教室	1名
高松教室	7名		



半年経っても、奥能登を中心に、被災地では倒壊したままの家屋や建物が多数残っています。土砂崩れで道路が寸断されたままの場所もあり、珠洲市ではまだ1000世帯余りで断水との事。七尾の街中でも倒壊の家屋がたくさんあり、1日も早い復旧復興を願います。

全国和装学院連絡会主催

全国いっせい「きものの日」の活動

令和六年七月二十日(土)

於 能登食祭市場

全国ゆかたの着方教室&納涼打ち水大作戦

七尾無料着付教室

令和五年十一月十三日(日)

於 寄り合い処みそぎ

七尾無料着付けに参加して

七尾準師範会 春木未央子



以前から着物に興味のある友人を、お誘いして参加しました。

短い時間での着付体験だったのでとてもスムーズに……とはいきませんでしたでしたが体験後に、自分で着付けをした着物姿のままで街歩きをしたり、交流会後にもカフェに寄ってお茶を楽しむことができました。

貴重な休日でしたが、快く参加してくれた友人からも、「来て良かったわ。たまに着物でお出かけもいいね!」と言って頂いたので、私も嬉しく感じました。

「七尾市長との懇談会」

師範会 藤田 寿代

例年十一月開催の「きものの日無料着付け講習」後、食祭市場に会場を移し、茶谷七尾市長を囲み、七尾の街にきもの文化を如何にして根づかせるかをテーマに意見交換を致しました。金沢や学院以外の方からも「きものの日の制定や、きもの着用時のポイント付与制度」等の意見を頂きました。市長からは仕掛けが重要であり、学院の計画を市民の皆様が目にする広報誌やネットを使う事で、広くお伝え出来るとの貴重なご提案を頂き、地震で立止った計画を実践する事が急務となっています。



能登半島地震からの復興を願って打ち水大作戦に参加しました。一部営業を再開したばかりの「能登食祭市場」を会場に、ゆかたの無料着方教室を行い、午後五時から、正面玄関で打ち水を行いました。

ゆかたの着方教室に参加して

参加者 竹本 律子

ゆかたの着方教室のお誘いを頂き、参加致しました。近年着物から遠ざかり、始めは苦労したのですが、講師の方々の極め細やかな指導のもと素敵な帯結びに、満足いたしました。七尾市長、参加者の皆様と共に「がんばろう!能登半島」の文字を背にした。震災後半年が過ぎ復興が叫ばれる中、貴重な思い出となりました。ありがとうございます。



納涼打ち水大作戦に参加して

七尾準師範会 山口 節子

打ち水の行事に参加するのは初めてで、まして娘と参加出来るのは今年一番の喜べる出来事でした。

娘「久しぶりにお母さんに着付けてもらおうね」母「本当やね、いつ以来?」娘「もしかして大学の卒業式?」母「かも?」婿「十年?」娘「十年も経った!?」と大笑い。

婿に送迎してもらい全国一斉打ち水に参加しました。ほんの一時でしたが、こんな幸せな機会を頂けた事に本当に感謝です。

令和6年度 山原昌娃きもの着付学院 各会・認定校・連鎖校役員一覧

会 名	令和6年度役員
連鎖校会	山本由美子 竹田 宏枝
師範会	宮本富美子 澤 ひろみ
金沢準師範会	橋本亜希子 荒木 幸子
七尾準師範会	春木未央子 宮内 望未
金沢講師会	小泉真理子 大沢 和佳
七尾講師会	吉田美津子

教室名	先 生	令和6年度役員
金沢教室	中座 道子 先生	藤高 法子
松井教室	松井 吉子 先生	大橋 陽子
田鶴浜教室	藤澤 久江 先生	松田 浩美 常橋 仁美
高松教室	堀井 紀子 先生	新田美智代 西谷 香織
羽咋教室	田中力フミ 先生	丸吉ひとみ 国門加寿子
河原教室	河原佐代子 先生	中尾 聡恵
みやもと教室	宮本富美子 先生	八十田和代
ふみ娃教室	竹ヶ端富美江 先生	袋井 弘美 平澤 純子
まさこ教室	石川 勝子 先生	松井 俊子

広告を協賛して頂きました各社に
厚く御礼を申し上げます。

令和6年度 全国きもの指導者協会役員

・会長
山原 昌娃

・事務局長（会計兼務）
藤田 寿代

・地区代表幹事・監査
久木満津美 竹田 幸子

・地区代表幹事
田中 孝美 中座 道子

・堀井 紀子 山田 清美

・田中ひとみ 山田 清美

・書記・会計補佐
山本由美子 竹田 宏枝

・幹事の任期は二年間とし、再任は妨げない。

・各会会長
山本由美子 宮本富美子
橋本亜希子 春木未央子
小泉真理子 吉田美津子
（任期は一年）

行事予定

- ◆十月十三日 「はたちの集い」
七尾市 サンライフ
きもの着付けお直しボランティア
- ◆十一月三日 「きもの集い」
金沢茶屋
- ◆十一月二十四日
◎七尾市民文化祭参加
半巾帯を楽しむ
「パトリア」一階ロビーを歩く
半巾帯の無料着付け教室十時三十分
「パトリア」五階生活実習室
- ◆令和七年一月十二日 「はたちの集い」
七尾市・中能登町
きもの着付けお直しボランティア

『翔』40号によせて

学院長 山原 昌娃

学院誌『翔』40号発行です。
六月の第一回編集会議で「今号の発行は40号になります」と編集長からの報告でした。

“私の宝もの”学院誌。四十年の記録がぎっしりと詰まっています。

なつかしき既刊のページを開くと思いに留まらず、たくさんの方の気付きをいただけます。文章の行間にさえ又、心が躍ります。

お世話戴いた編集委員の方々も五十名を超えたと思います。40号発刊にあたり深い感謝と喜びを感じております。

山原昌娃きもの着付学院のホームページを見てください。1号からすべて一頁ずつ見られます。

編集長 細田 節子

山原昌娃きもの着付学院のHPを見ると、『翔』の創刊は、平成元年でした。内容を見ると、その時々々の活動や行事が載っています。学院の皆さんが着付けの技術やきものについての理解を深める為に努力している様子がよくわかります。

多様な帯結びを創り上げているコンテスト。アイディアを持ち寄って開催した全国きもの指導者協会の総会のすばらしさ。等々、正に山原学院の歴史そのものが伝えられています。

発行に携わった方も多く、広く皆様の支援や協力があつたことがわかります。是非ご覧ください。

編集後記

元日の揺れでは外へ出るのがやっとでした。それからの日々は片付けであつという間でした。六月に入り第一回の編集委員会が。それも記念すべき40号です。大変な中でしたが発行に携われることに感謝です。原稿を寄せて下さった皆様、本当にありがとうございます。（守友）

“能登半島地震”で一変してしまつた日常。やっとコロナが収束しつつあつた中の出来事。着物を着る事さえも遠慮してしまふ。この災害で大切な着物を手放さざるを得ない方や処分なさる方の事を新聞や人づてに聞き、残念でなりません。一日も早く日常が戻り復興することを願います。（神前）



編集委員

山原 昌娃
細田 節子
守友 伸子
神前 淳子
大谷 礼子
竹田 宏枝

翔 第四十号 令和六年九月一日発行
発行 全国きもの指導者協会認定校
山原昌娃きもの着付学院

〒926-0806 七尾市藤橋町寅二二六-一
TEL (0767) 521-1625
FAX (0767) 521-7556

ホームページ <https://yamahara2.web.fc2.com>
編集 翔 編集委員会
責任者 山原 昌娃



和日遊日

はるなお

和日遊日

はるなお 高岡店

8月3日 オープン

〒933-0914
富山県高岡市小馬出町6
山町ヴァレー【五ノ蔵】

はるなお文化教室

きもの着付・茶道【裏千家】・立礼式茶道
三味線・箏・書道・組紐・和裁・木目込み
きものdeおでかけ
など 一緒に「和」を楽しみましょう

七尾店



@WABIASOBI8670

高岡店



@WABIASOBI8670_TAKAOKA

〒926-0048

七尾市松物町2番地

Tel:0767-53-0423 Fax:0767-52-9033

和日遊日はるなお

検索

LINE ID検索: @harunao

かなざ和を、
めしあがれ。
旬の地物食材と
美しさ溢れる伝統工芸の数々。
洗練された和の空間で
加賀屋の味とおもてなしを
ご堪能ください。



料理長 加賀屋グループ
金沢茶屋



JR 金沢駅前鼓門より徒歩3分

〒920-0853 石川県金沢市本町 2-17-21

ご予約お問合せ ☎0120-378-223

※お食事だけでもご利用いただけます。



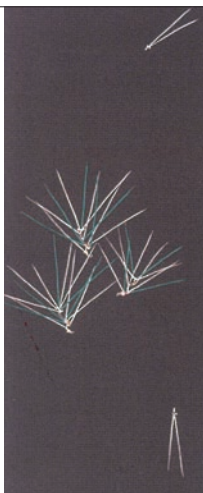
Kanaza WA, JAPAN



あなたが『主役』
身震いするほどかっこいい
新しい扉を開けませんか

和福工房 はる亭

七尾市阿良町2
Tel 0767-52-3162



とことん向き合い、ずっと寄り添う家づくり。

City House

シティハウス産業株式会社

〒926-0818 石川県七尾市馬出町八部51-3

TEL 0767-53-2133 FAX 0767-53-7910

E-mail cityhouse@cityhouse.co.jp

http://www.cityhouse.jp